

令和4年度後期

アンケート実施期間

令和4年12月9日～21日

大明小学校 実践の評価（教職員）

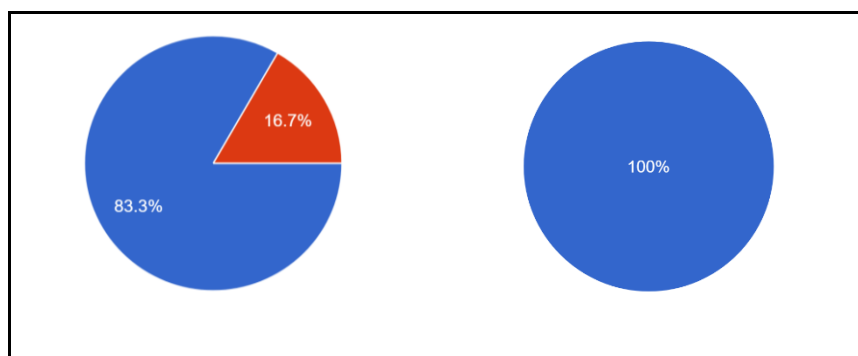
左側のグラフは今年度前期の結果です。右側が今年度後期の結果です。

1. 教育目標について

- ① 学校教育目標・具体的行動目標は適切だったか。

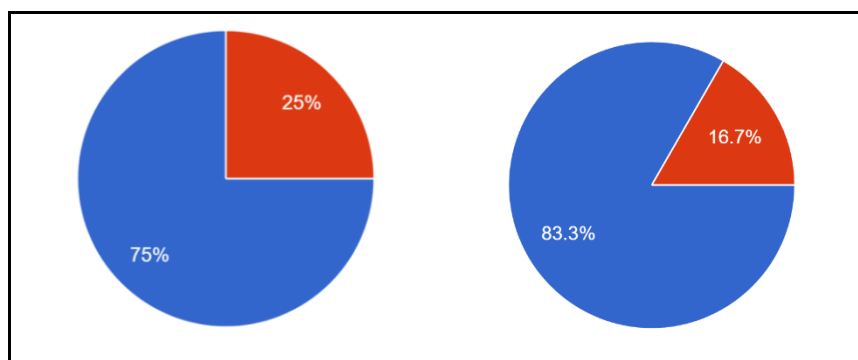
「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」

～あいさつができる きまりが守れる 進んで学習できる 思いやりがもてる～



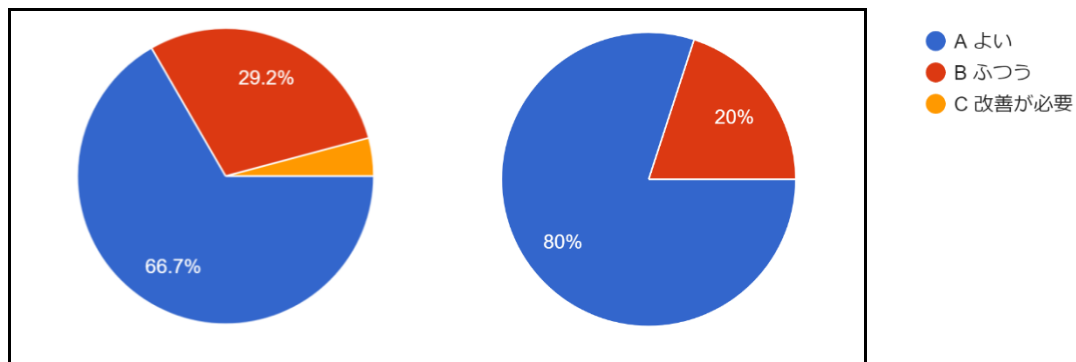
● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

- ② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

③ 学校教育目標や経営方針が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。

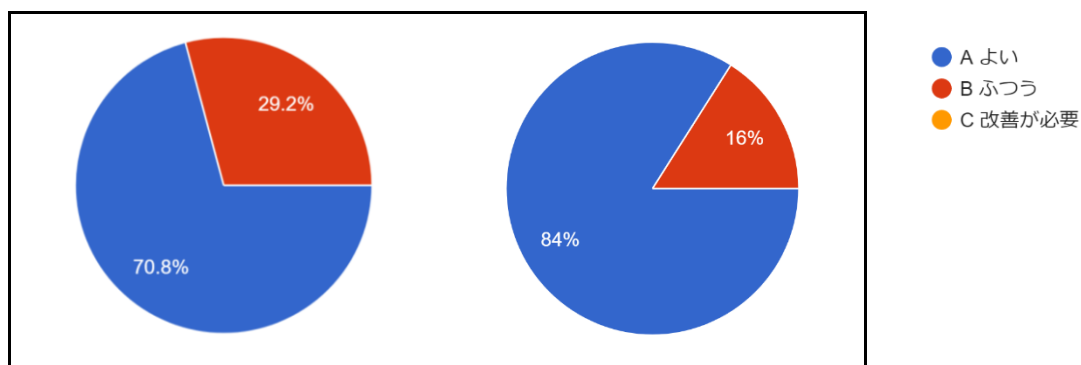


< 考察・改善点 >

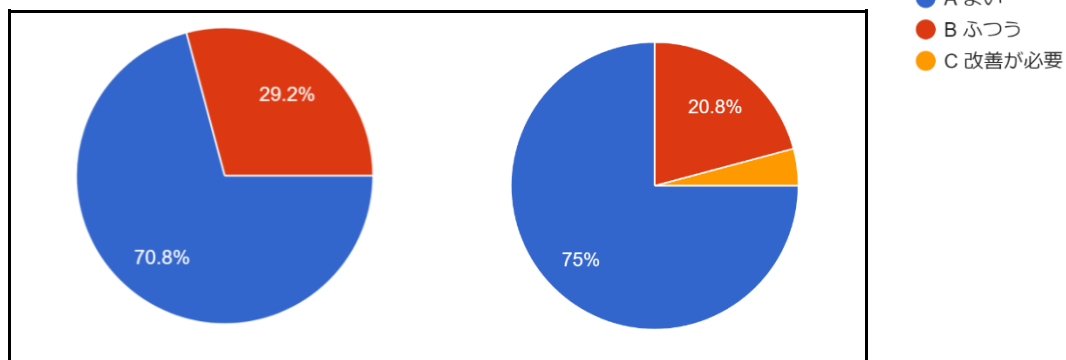
学校ホームページや学校・学年だより等により，本校の経営方針や日々の学校生活の様子を適宜保護者や地域の方々に伝えている。今後も保護者や連携機関と適宜連絡を取り合いながら，円滑に教育活動を進めていきたい。

2. 経営・組織

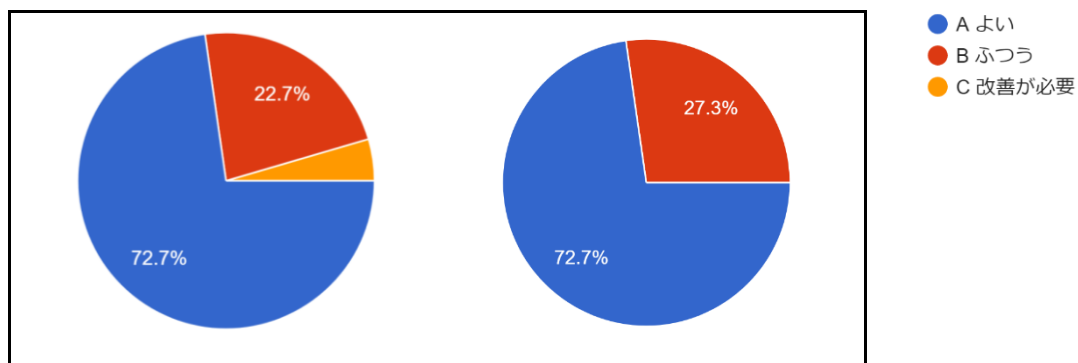
① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。



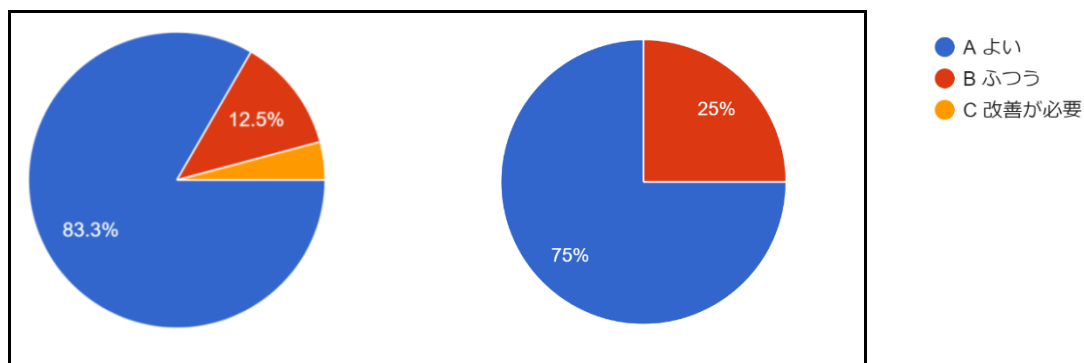
② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。



③ 学年打ち合わせが十分できているか。



④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。



<意見>

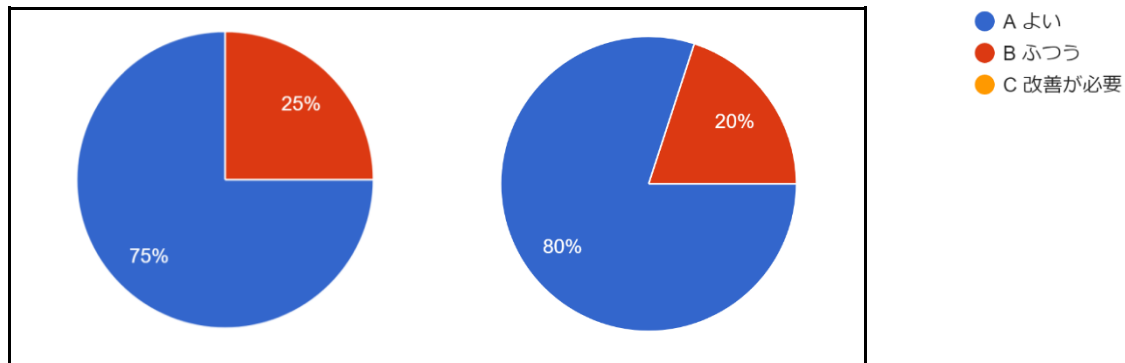
- ・毎日学校に来られない職種もいるし、コロナ禍で長めに休む職員もいるので、連絡はなるべくホワイトボードではなく、Excelの終礼ファイルで行っていただくと大変ありがたいです。
- ・職員会議や終礼で、先生方の声が反映されにくいと感じる。現場の先生方がこうしてほしいと提案しても、あまり取り入れられない。先生方の意見すべてを取り入れることが難しいのはわかるが、声をあげた方が叩かれてしまう風潮があり、みんな思っていることが多いと感じる。
- ・学年によってバラバラになることがあった。学年内・学年間でしっかり調整していく必要性を感じた。企画運営会議でしっかり確認して全体で同じ歩調でやっていきたい。

<考察・改善点>

- ・連絡事項については、緊急時のものは「連絡白板（ホワイトボード）」に記入し、周知徹底する必要があるものについては終礼ボックス（Excelファイル）にも「文書提案」として記述していく。
- ・先生方の意見については、2学期より実施している企画会議の中で十分検討し、学校運営に生かしていく。学年内・学年間で統一・調整すべき内容については、企画会議でしっかりと確認し、主任から確実に伝達してもらい周知徹底していく。

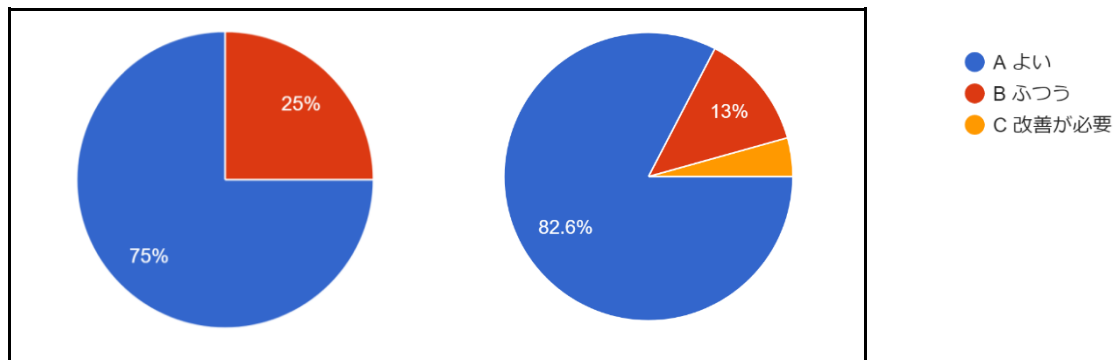
3. 教育課程(1)全般

① 教育課程に本校の特色は生かされているか。

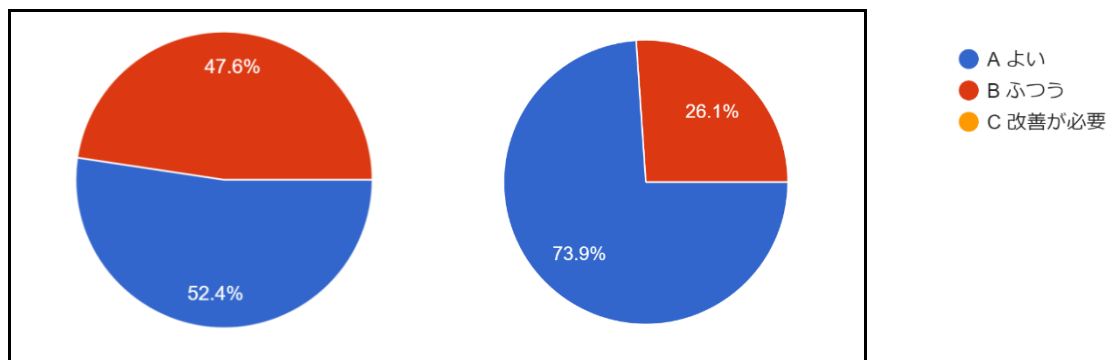


3. 教育課程(2)各教科・総合的な学習の時間

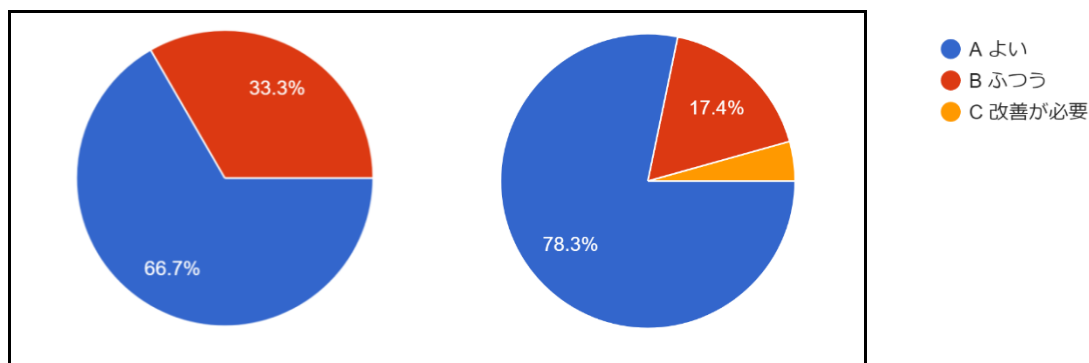
② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。



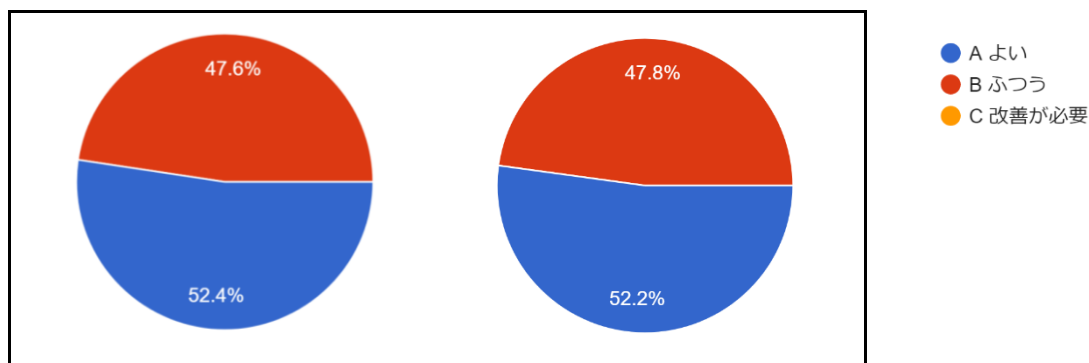
③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。



④ 各教科の授業時数は確保できているか。

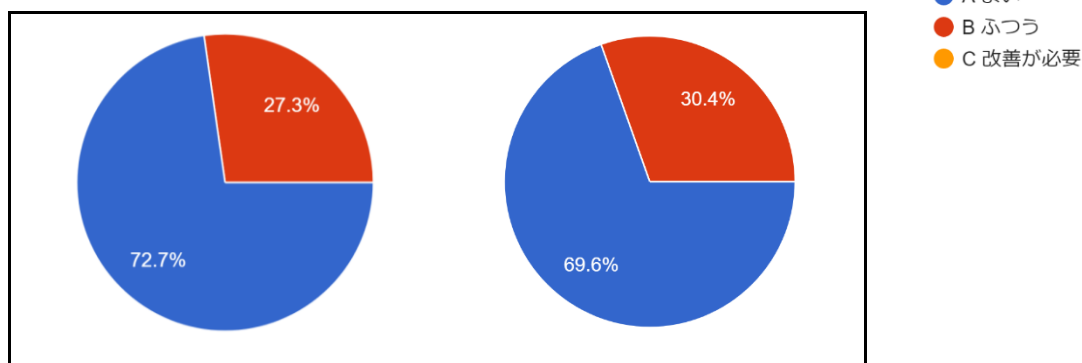


⑤ ICTの充実に向け、一人一台端末を有効に活用できたか。

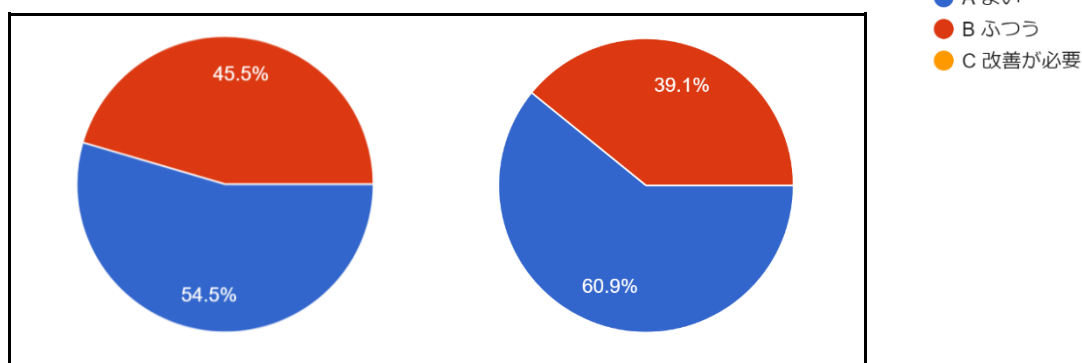


3. 教育課程(3)道徳

⑤ 教科や他領域との関連に考慮がされているか。

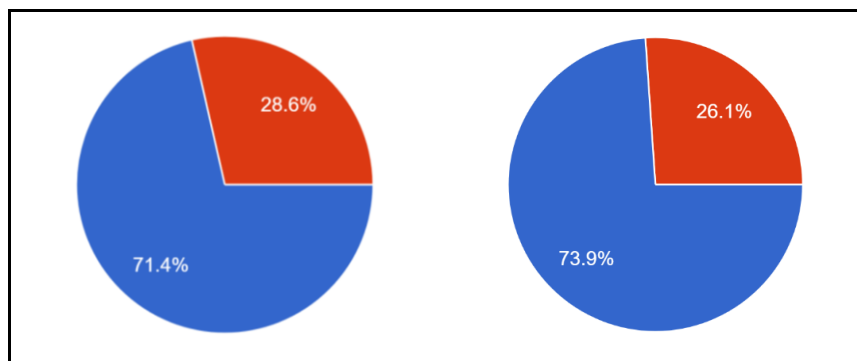


⑥ 道徳的实践・道徳性などが高められていると思うか。



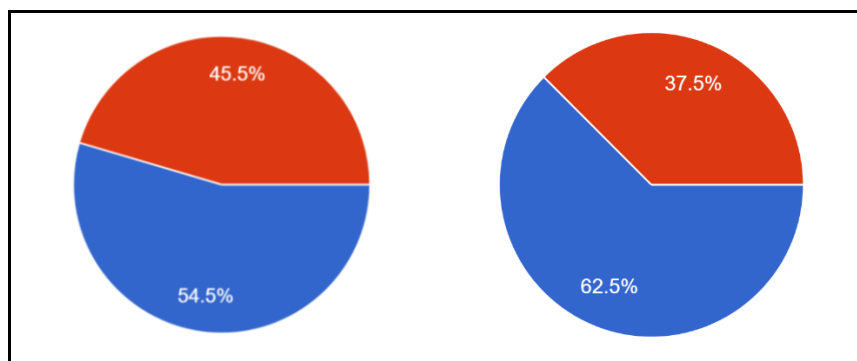
3. 教育課程(4) 特別活動(学級活動・児童会活動)

⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

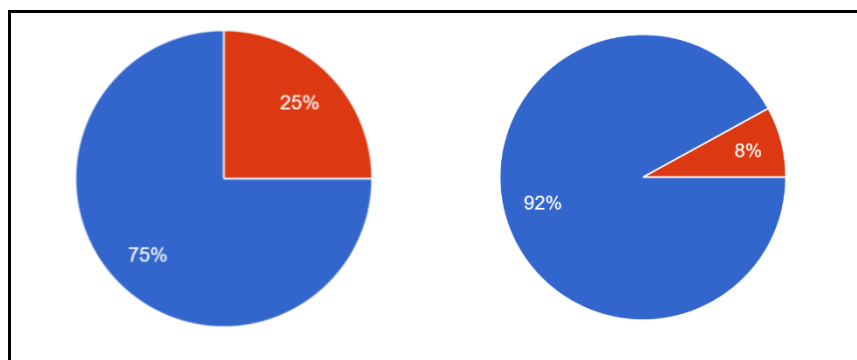
⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

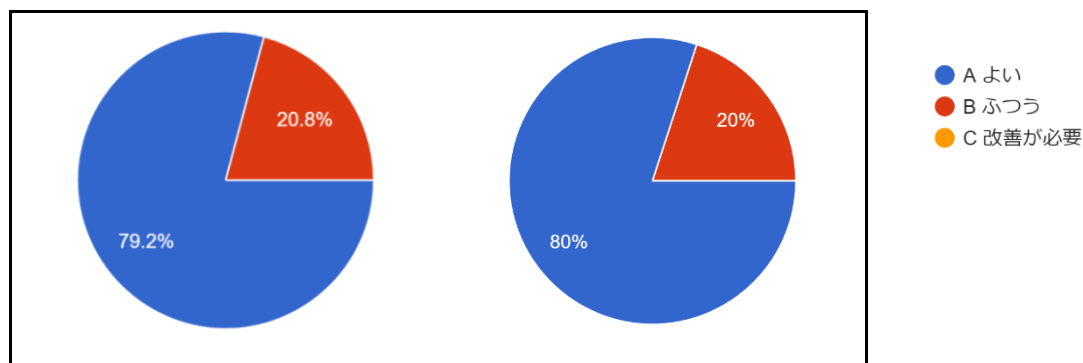
3. 教育課程(5) 学校行事

⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。



<意見>

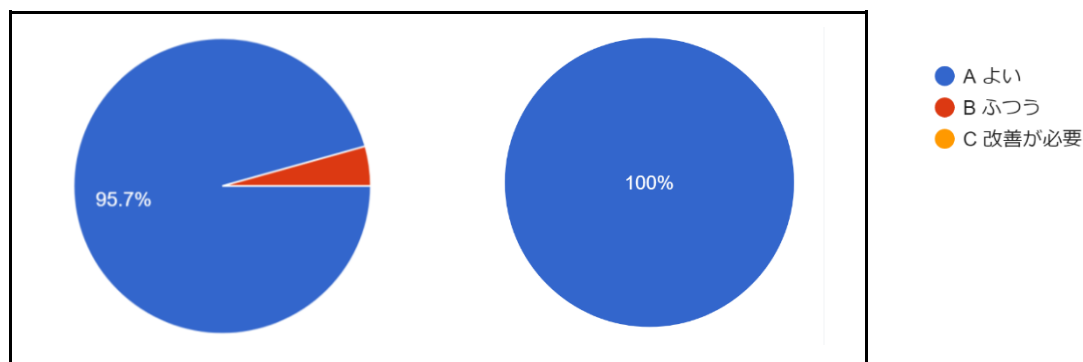
- ・教科指導以外にも、学年の行事等の準備で予想以上に時間を削らなければならなかった。自分の見通しの甘さもあるが、児童の実態的に、今年は特に活動に時間がかかることが非常に多く、軽重もかなり付けた教科もあったが、それでもいっぱいいっぱいだった。どこをどう改善すればいいか考えたときに、総合のお米の内容をもう少し軽減させてもいいのかなと感じた。（児童会選挙の取り組みも、学活だけではとても補えず、総合の時間を使って取り組むしかなかったため）
- ・若い先生が多く、授業づくりが日々教科書の内容を教え込んでいることに陥りがちな気がする。ベテランの先生方にいろいろなことを聞きながら、やっていけるとよいと感じた。しっかり教材に精通し、つけたい力をしっかり身に付けられるようにしていきたい。

<考察・改善点>

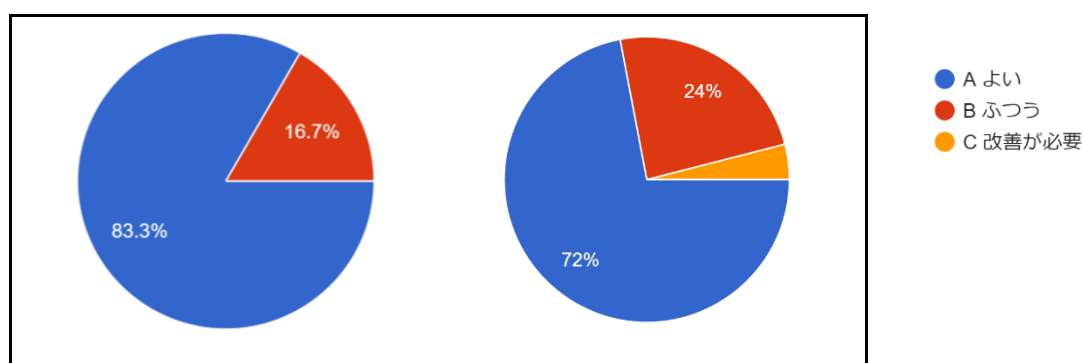
- ・教育課程の実施については、全体的に前期に比べ、さらに改善が図られている。学校行事等の関連から、先を見越して計画的に取り組んでいく必要がある内容もある。3学期も、学年間で相談・調整しながら、学力が子どもたちに定着するようすすめていく。
- ・5年生が主となる学校行事の時期（児童会選挙）と総合的な学習の時間で米に関わる学習をする時期がなるべく重ならないように、計画や内容の見直しについて次年度に引き継ぐ。総合的な学習の時間（70時間）の授業時数を確保する中で、学期ごとの時数配分を見直す。（教育課程作成時）
- ・前期の考察同様に、単元を選択するなどして、学年で一緒に教材研究に取り組みながら指導計画を立てる機会を設けていきたい。若手と中堅・ベテラン教員がともに知恵を出し合い、相談しあいながら工夫して授業づくりに取り組んでいく。

4. 学級経営・生徒指導

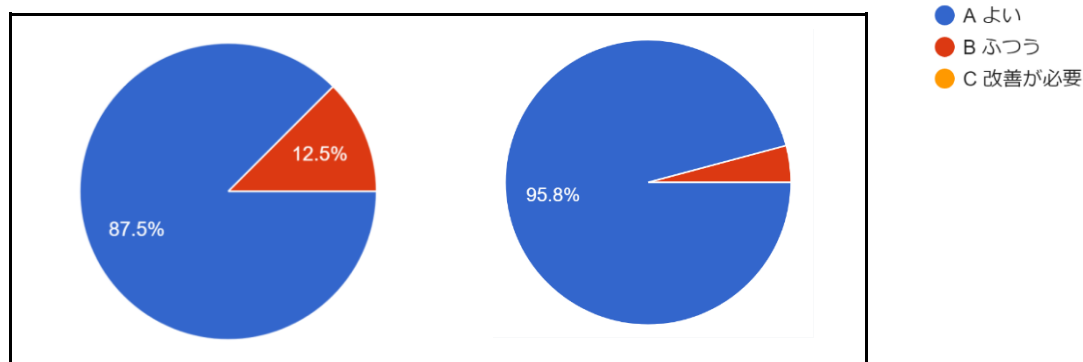
① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか



② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。



③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。



<意見>

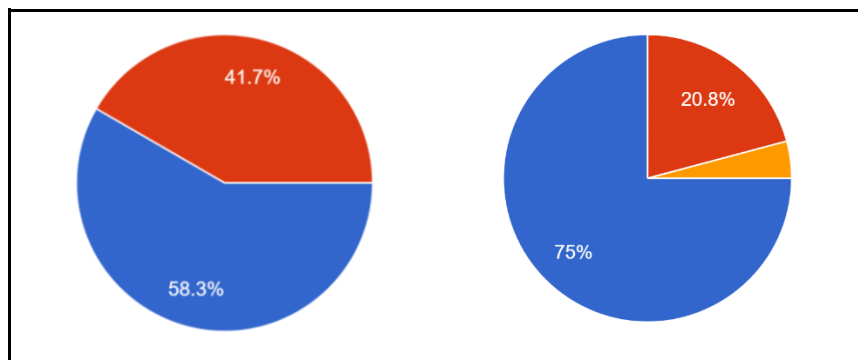
丁寧な段階を追って支援をしていることが多かったが、全体で情報共有がなされていない時があり、今までで継続してきた指導と違った指導をしてしまったことがあり、保護者を混乱させてしまった場面があった。しっかり改善していきたい。

<考察・改善点>

- ・休み時間に、子どもたちと教師が校庭や教室で一緒に遊んでいる様子を多く目にする。子どもたちと心の触れ合いを求め、望ましい人間関係を築く学級づくりに、先生方が毎日精進していることを強く感じる。
- ・生徒指導や支援を必要とする子もいて、その内容や指導・支援の仕方は多岐にわたっている。今後も担当者を中心に役割を担いながら、校内支援委員会やケース会議で共通認識をもち、組織的に対応できるようにしていく。

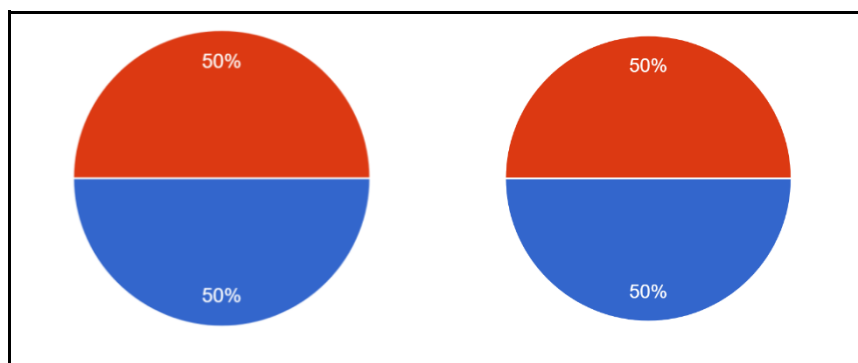
5. 家庭・地域社会との連携

① 授業参観・懇談会は適切だったか。（回数・内容・出席率）



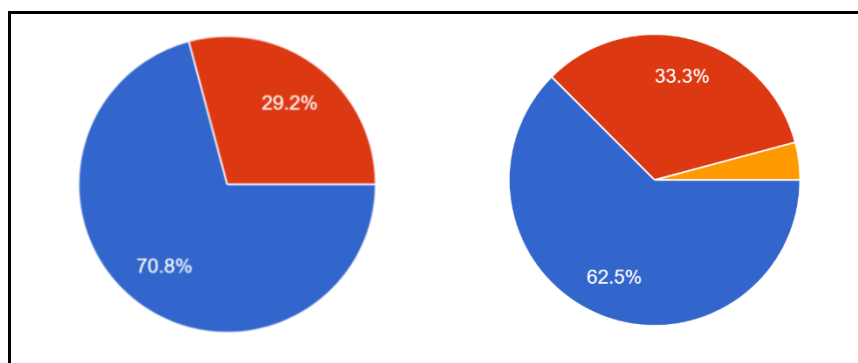
● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

② P T A 活動は目標達成のため計画的に展開されているか。



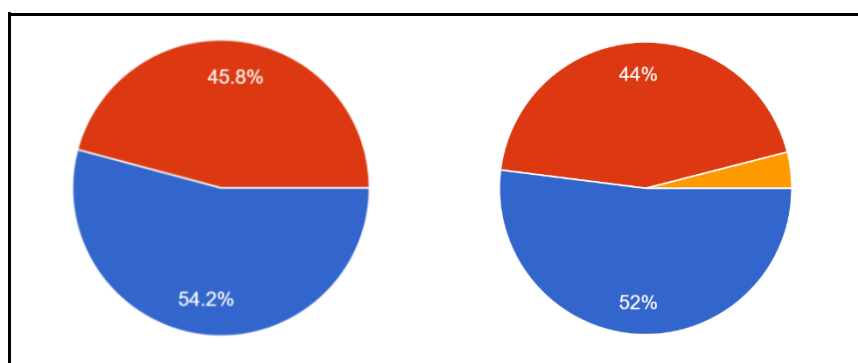
● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

④ 学校応援団を有効に活用できたか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

<意見>

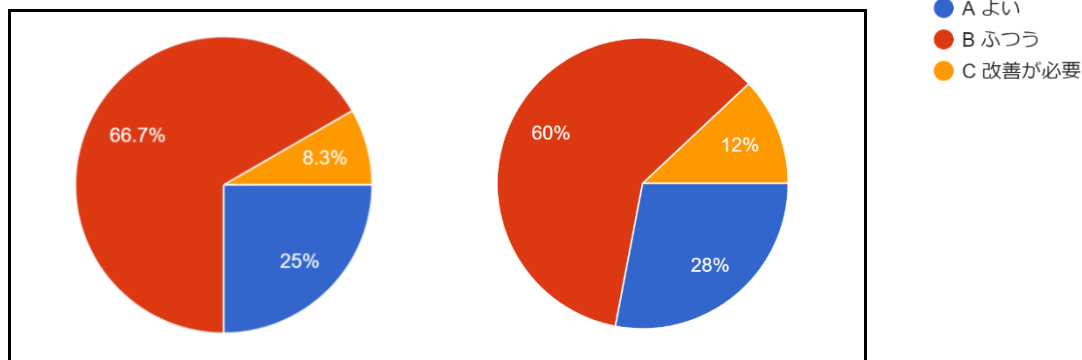
- ・学校応援団の活用は思うように進まなかった。コロナ禍で地域連携が課題だと感じる
- ・授業参観がコロナ禍を踏まえたうえでの実施だったため、講師を呼んでの講話の参観が主だったため、普段の授業がみられるようになるとよいと思います。
- ・児童の登校時間が教員の勤務開始時間よりも早いため早期出勤が求められている。同じ地区のなかでの統一や保護者の理解が必要だが、勤務開始時間に即した登校時間になっていくとよい。

<考察・改善点>

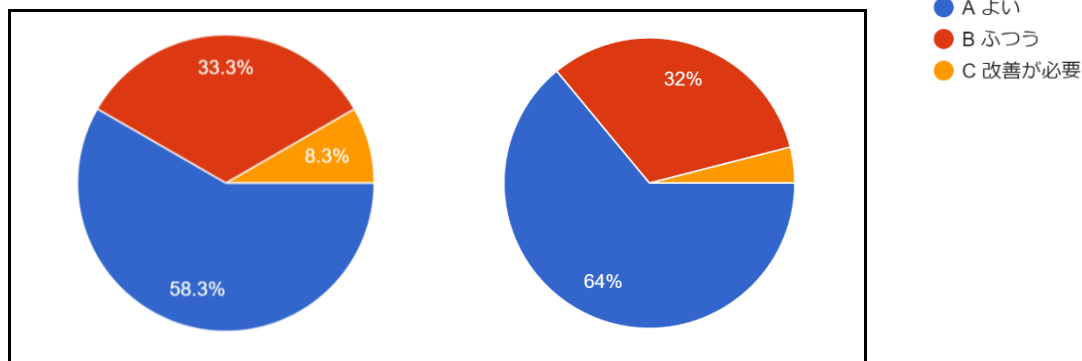
- ・学校行事と同様に、学校応援団についても、保護者や地域の方々の協力を得ながら教育活動を進めている。今後も感染症の発生状況を見極めながら活動していくことになるが、PTAや学校ボランティアと工夫しながら連携していくことになる。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策の一つである健康チェックカードの取り組みは、家庭の協力を得ながら続けている。今後も、感染レベルの動向に合わせて、文部科学省や県・市教育委員会からの指示に則ったりしながら対応していくことになる。職員の勤務開始時刻については、集団生活を送る学校において、念入りの健康チェックの必要性を理解していただく中で、事情がある場合はその都度管理職と相談しながら、できることについては対処していく。

6. その他

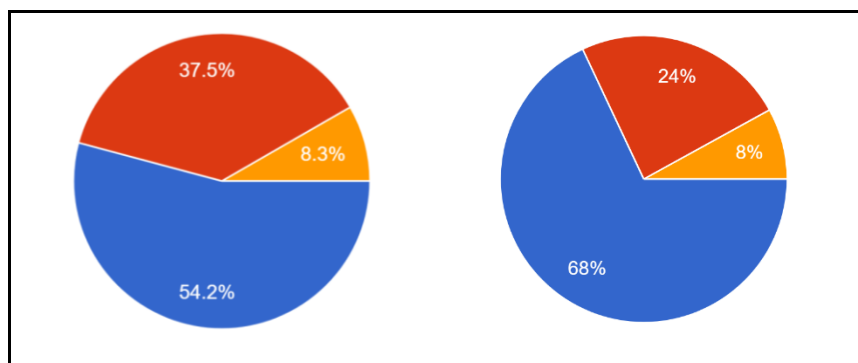
① 子どもたちは、あいさつができていたか。



② 給食中のすごし方やマナーに問題はないか。

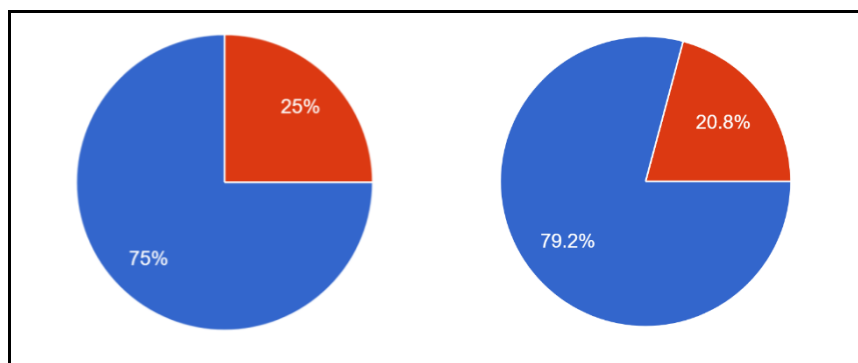


③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。



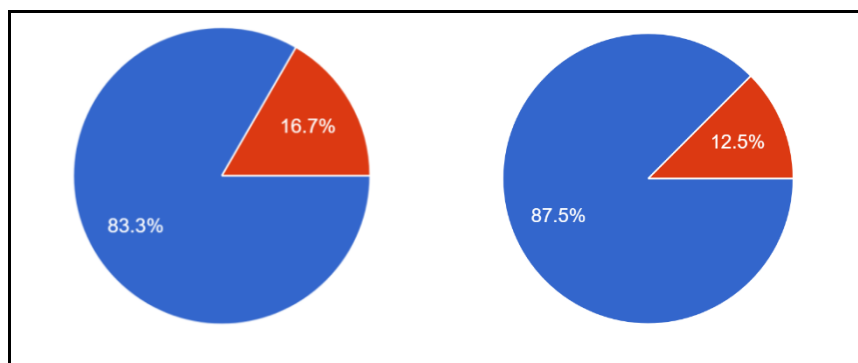
● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

⑤ 保健指導がしっかりできていたか。



● A よい
● B ふつう
● C 改善が必要

<意見>

- ・挨拶の重要性や教職員が常にモデルとなって示していくことが必要だと感じています。食事マナーは声掛けはしていますがなかなか改善が難しいです。家庭にも協力していただけるといいと思います。
- ・おしゃべりをしながら清掃活動をしている子が目につくので改善が必要だと思います。
- ・①高学年児童は、こちらからあいさつしても、あいさつをしない児童も少なくない。
改善策としては、(1)児童会で新たな取り組みを行う。(2)教職員が率先してあいさつする。(3)学級ごとにあいさつの取り組みを考えて取り組む。(4)「おはようございます。」以外のあいさつをしっかり行わせる。(特に学級内で)
- ③基本的な拭き方、掃き方、バケツ使用、ごみの始末等、また、場所ごとの掃除の仕方・手順、掃除時間の指導が行き届いている学年・学級とそうではないところがあるようです。改善策としては、(1)学年・学級で掃除の基本、場所ごとの掃除の仕方の再確認・再指導を行う。(2)清掃時間を十分確保する。(開始時間、終了時間) ”

- ・毎年あいさつが課題だと言われる。「おはようございます」だけでなく、「さようなら」「はい」「ありがとう」など返事も含めて指導していく必要性を感じた。
- ・黙食を求めないことが共有されたことで、給食時のクラスの雰囲気が明るく和やかになった。まだ感染対策として前向きなどの対策は続ける必要があると思うが、以前のような活気ある給食に戻ることを期待している。
- ・昨年より「あいさつ」ができないように感じる。6年生からの強力なお手本が必要だと思う。また、児童会の無言清掃の取り組みがしっかりとされていない。その結果、清掃活動がきれいになっていないように感じる。

< 考察・改善点 >

- ・あいさつ（返事も含む）については、教師がさらに意識を高めるとともに、学年や学級の実態に合わせた取り組みを考え、工夫して取り組むことが考えられる。
- ・清掃活動については、前期の考察で確認されたように、時間内はむだ話をすることなく集中して清掃に取り組めるよう、引き続き全校体制で指導していく。また、日常的に学級活動や道徳を通して、清掃の意義を子どもたちに理解させていくことも大切である。
- ・食事のマナーについては、学校での指導や声掛けの他、通信で伝えるなどして家庭と連携を取りながら身に付けられるようにしていく。